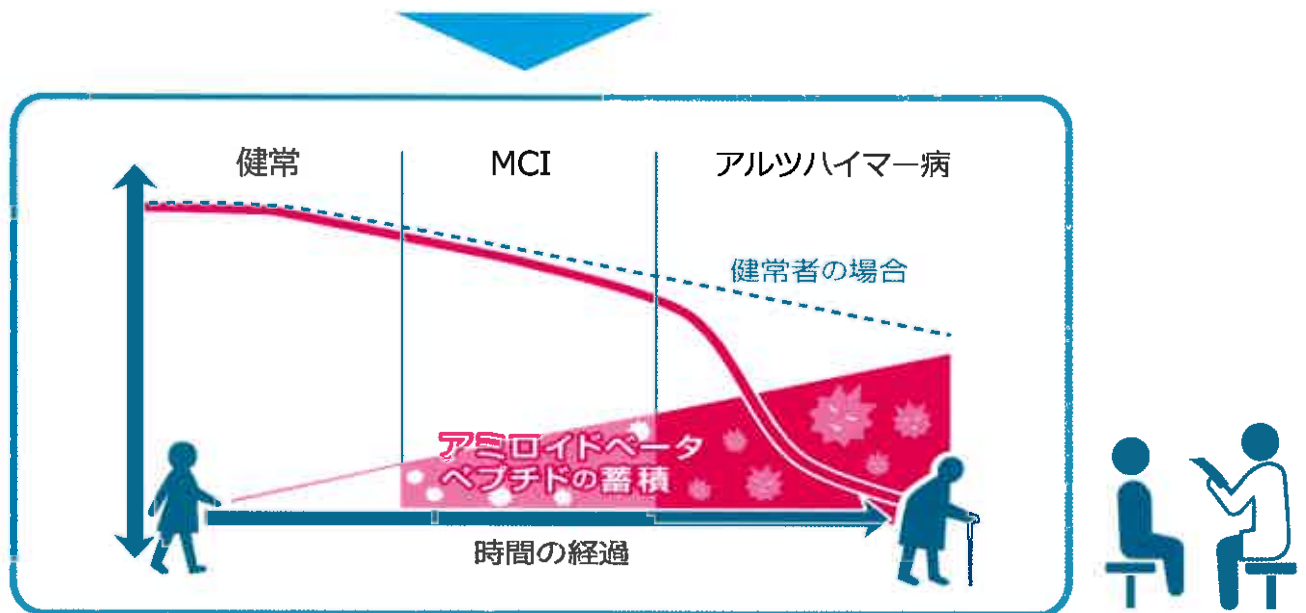


認知症予防のためのリスク検査 MCIスクリーニング検査

< MCI（軽度認知障害）とは？ >

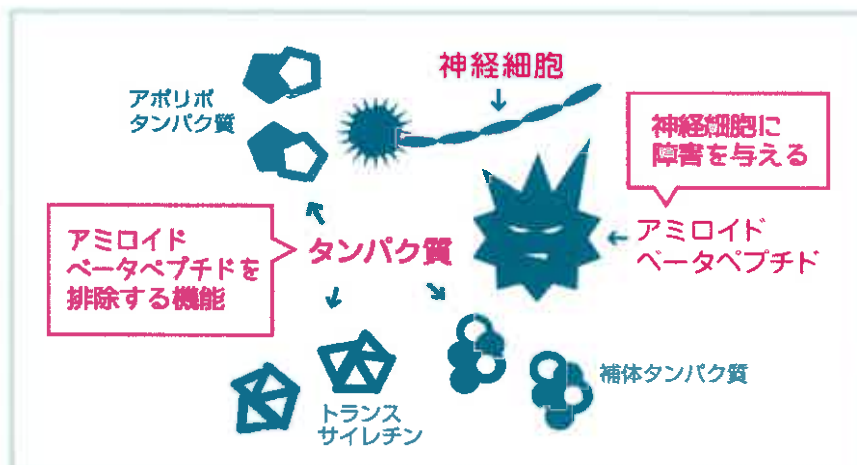
- ◆ MCI（軽度認知障害）とは、日常生活には支障がないけれども、微細な認知機能の低下が認められる状態です。
- ◆ MCI（軽度認知障害）の状態を放置してしまうことで、アルツハイマー病に移行するリスクが高まります。

MCI（軽度認知障害）は、認知症予防のキーワード



< MCIスクリーニング検査とは？ >

アルツハイマー病はアミロイドベータペプチドが脳内に蓄積されて神経細胞がダメージを受けることで発症するといわれています。本検査では、このアミロイドベータペプチドを排除したりダメージを抑える機能を持った3つのタンパク質の血中濃度を調べることでアミロイドベータペプチドへの「防御力」を算定し、間接的に軽度認知障害のリスクを評価しています。



MCIスクリーニング検査で早期に認知症のリスクを知り、適切な対処・予防を行うことで、認知症の予防が可能になります。

< 報告書サンプル >

【報告レポート】

MCBI 太郎 様の検査結果は、以下の通りです。
軽度認知障害 (MCI) リスク判定

MMSE得点 **30**

判定	判定	説明
A	A	通常です。今後も健康的な生活を心がけましょう。
	B	軽度認知障害 (MCI) のリスクは低めです。健康的な生活を意識的に実践することでMCIのリスクを抑えることができます。予防の効果は早いほど高いので、生活習慣改善も予防に取り組みましょう。
	C	軽度認知障害 (MCI) のリスクは中程度です。今後の生活習慣によってはMCIのリスクが高まります。食事や運動などの生活習慣を改善し、ただちに予防に取り組みましょう。また、心配な方は専門医による早期の検査・診断を受けられることをおすすめします。
	D	軽度認知障害 (MCI) のリスクは高めです。MCIの段階でも予防により認知症の発症を防ぐ・遅らせることが可能です。すぐに予防を始めるとともに、専門医による詳細な検査・診断を受けられることをおすすめします。

- 2 -

判定結果はリスクに応じてA～Dの4段階にて報告致します。受診後の認知症予防のため取り組みを解説した別冊資料も提供させていただきます。

【別冊資料】

認知症を予防するには？

① 脳を活性化させよう！

認知症を予防するには、脳を活性化させることが重要です。脳は使えば使うほど活性化し、認知症の予防につながります。

② 食事習慣を見直そう！

健康的な食生活は認知症の予防に効果的です。食生活を見直し、認知症の予防に役立ちます。

認知症を予防するには？

③ 運動習慣を見直そう！

定期的な運動は認知症の予防に効果的です。運動習慣を見直し、認知症の予防に役立ちます。

MCIスクリーニング検査を 受診頂いた方へ

はじめよう
認知症予防

< 検査の受診に関して >

■ 判定結果に影響を与える可能性がある疾患について

本検査において影響を受ける可能性のある病気は、急性障害、急性腎障害、自己免疫性腎疾患などの自己免疫性疾患（急性期）、重度の栄養不良などが考えられます。補体タンパク質（C3）の活性化がおきる疾患では本検査の判定結果に影響を与える可能性があります。トランスサイレチン（TTR）は栄養状態で変動します。極端なダイエットなどでは本検査の判定結果に影響を与える可能性があります。

■ 検査を受ける頻度

検査結果により必要な頻度は異なります。A判定の方は隔年での検査、B判定の方は年1回、C判定が出たら半年～1年ごとの定期検診をおすすめします。D判定の場合は二次検査を受けていただくことをおすすめしますが、二次検査で問題なかった方でも以降は1年に1回の定期検診をおすすめします。

※ 原則、午前中・空腹時の採血となります。

ご予約に関するお問い合わせ

医療法人社団慶友会
健康相談センター

旭川センター TEL 0166-48-5050
FAX 0166-48-5060
札幌センター TEL 011-815-9955
FAX 011-815-9956